

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成27年 10月 20日

和泉市長 あて

団体名 三林柔道育成会

代表者名 藤原 隆寿

所在地 〒594-0023
和泉市池田下町

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 武道必修化による柔道ふれあい体験事業
2. 事業の概要 改正された教育基本法及び学校教育法による柔道を中高で履修するため、柔道の基本動作の習得、心技体の健全な育成と事故防止や怪我軽減につながるため。
3. 事業費総額 646,970 円
(うち、対象経費 646,970 円)
4. 交付希望額 323,485 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(☐ はい ・ ☐ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	ミバヤシジュウドウイクセイカイ		
団体名	三林柔道育成会		
団体の目的	柔道を通じて、子どもたちの健やかな育成に貢献するとともに、全ての年齢の柔道愛好者の自己研鑽と交流できる場であり、学校における柔道の事故を未然に防止できる。		
市内事務所の所在地	〒594-0032 和泉市池田下町 【専用事務所 ・ ○住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話		FAX
フリガナ	フジワラ タカトシ		
代表者氏名	藤 原 隆 寿		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ ヤギ アユミ ハ木 あゆ美		電 話 FAX 0725
設 立 年 月	昭和 50 年 10 月	主な活動地域	いぶき野小学校周辺
会報等の発行	有 (回発行) ・ ○ 無	会員数	50人
メールアドレス	a@daiho.jp		
ホームページ	http://biogs.yahoo.co.jp/mibayasijyudoikuseikai		
主な事業内容	ボランティア活動の中で、青少年における心身の鍛練のため、礼法・基本動作を重視しながら乱取にも力を入れ、熱意ある稽古をいぶき野小学校体育館にて、週3回実施し、講道館の普及、振興を図ると共に、青少年の精力善用なる育成に努めている。		
主な活動の実績	和泉市市民柔道大会等各種大会への参加 教室活動、対外試合 出稽古など		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	武道必修化による柔道ふれあい体験事業	
事業の必要性 * 別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等）中高における武道が必修化されたことで、柔道の授業等において痛ましい事故が起きていることや、和泉市においては柔道ができる場がこの三林にしかないこと。また、青少年のとりまく非行が多様化していることから、青少年の健全な育成と日本古来の武道の伝承を受け継いでいきたいと考える。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等他市に行かなくても柔道ができる場があり、柔道の基本動作が身につくことで、必修化となった授業での乱取りがより円滑に、そして、安心安全に受講できる。また、怪我を未然に防ぐことにつながる。	
事業内容 * 別紙添付可	（主な対象者） 幼児 ～ 一般 参加予定者数 30 人 （事業実施期間）平成28年4月中旬～平成28年12月 （事業実施場所）和泉市立いびき野小学校体育館 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 初心者対象のふれあい体験教室を、広報を通じて募集し、柔道を安全に健全に実施できるように基本動作を身につけるための講習を実施し、礼儀・克己・遵法等の精神を養い、社会性を育み、相手を敬う心や感謝の気持ちを養うことで、積極的に社会貢献できる人材育成につながる事業を実施する。	
事業スケジュール	時期 (月)	内容
	3月	「柔道ふれあい体験教室」参加者募集を広報誌に掲載
	4月～12月	随時受付可能
	8月	水泳体力企画にて交流会
	11月	出稽古体験1日合宿（一泊二日）交流会
	12月	ふれあい大会の開催

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 武道必修化による柔道ふれあい体験事業

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	323,485	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	65,000	保険代 2,000円×20人=40,000円 大会参加費 500円×50人=25,000円
自主財源	258,485	団体会計より支出
合 計	646,970	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報酬費	55,000	大会審判謝礼 8名×5,000円+参加費 300×50名
役務費	78,400	登録振込手数料+スポーツ安全保険代
食料費	8,000	大会審判弁当代 8名
旅 費	150,000	指導者交通費 2名×500円×120日 高速代
消耗品	295,570	大会用：入賞者景品（柔道着3着）、応急処置品代、のぼり旗、チラシ、コピー、頭部保護用ヘッドギア、畳滑り止めストッパー
会場使用料	60,000	3月下旬から4月上旬、及び練習試合
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	646,970	
対象経費	646,970	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ ○はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

事業を縮小して行うように努めます。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。